

鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会
令和3年度第1回会議録

書面開催 令和3年8月25日（水）
 委 員 上田智子委員、佐藤克己委員、仲野美和委員、渡辺善彦委員、
 山田芳裕委員、佐川幸江委員、今村喜和子委員、鈴木知子委員、
 石田友和委員、林紅委員
 事務局 平野市民活動推進課長、小林男女共同参画室長、藤嶋室長補佐、
 菊地主事、小野寺社会福祉士、山崎プロジェクトマネージャー

会議内容

- 1 委嘱の任期について
 令和2年5月26日から令和4年5月25日までの2年間
- 2 会議について
 - (1) 会議・会議録の公開・非公開について
 会議・会議録については公開とした。
 - (2) 会議録の作成方法について
 効率化の観点から要点筆記とした。
 - (3) 傍聴人の人数について
 今回書面開催であるが、会議形式の場合は、5名までとした。
 - (4) 会議録署名人の選出について
 名簿順により今回は、仲野委員、渡辺委員が選出された。
- 3 議題

(1) 鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画第2次実施計画進捗状況について

資料6 令和2年度事業集計結果

意見 No	該当 箇所	意見内容	男女室回答
1		コロナ禍により事業実施度の低下がみられたことは仕方のないこととはいえ、残念でした。コメントにある通り、「コロナ禍においても啓発等が行える方法の模索が必要」で、コロナ禍2年目を迎えた令和3年度において、具体的な方法が実施され始めたりしているの	職員研修については講座を録画し、動画配信に切り替えて実施しています。 外部に向けた講座などは、市で有料版Zoomなど、長時間会議ができるツールを取得できておりません。事業の内容により、デートDVについては啓発冊子の配付、「おとう飯事業」についてはレシピ募集すること

		か、伺いたいと思いました。(例えば、講座や相談のZoom)	により市HP、広報紙、センターニュース等を使って啓発するなど様々な形式を取り入れ実施しました。
2	5ページ	その事業実施度について、5年間の経年変化、もしくは昨年度との比較ができるようなグラフ(ないし昨年の数値の表示)があると良いと思いました。(5ページの5年間のトータルの実施度のグラフに合わせて、5年間の変化を表で示すと良いのかと思います。)	5ページに「(3) 事業実施度の5年間の推移」としてグラフを追加し経年変化を読み取りやすくしました。
3		パーセントを示す数値で、小数点第一位まで示したものと第二位まで示したものがあります。	小数点第一位までの表示に変更しました。
4	5ページ	5ページ「(3) 過去5年の進行について」の冒頭の「各部署の事業に男女共同参画の視点を取り込むことの啓発」という表現について「取り込む→取り入れる」もしくは「各部署の事業を男女共同参画の視点で取り組むよう啓発」のほうがしっくりきます。	「取り入れる」に修正いたしました。

資料7 鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画第2次実施計画(H28～R2) 実施状況の概要(令和2年度)

意見No	該当箇所	意見内容	男女室回答
1	1ページ	(1) 審議会数 69内女性委員がいる審議会54の箇所の表現がわかりにくい。どこかに間隔を空ければわかりやすいと思う。	「審議会数 69 内女性委員がいる審議会 54」に修正しました。
2	2ページ	5 職員に対する研修・啓発 ②男女共同参画研修(対象:管理職) ジェンダー平等が世界的に問題となっており、ひとつの要因として、上位職になるほど女性が減る傾向がある。理由の一つが男性管理職が、自らの後継者を男性と考え、推薦する傾向があると考えられる。 また、女性が、上位職を目指せる環境づくりと育成が必要と思う。今後は、管理職員に対して、ジェンダー平等意識を高める啓発・研修が必要と考えられる。 日本社会における男女の役割分担意識の解消が進まないなかで、鎌ヶ谷市も例外ではなく女性管理職比率も他に高いとはいえ、さらに意識を高めることは要求されると思う。鎌ヶ谷市も30パーセント以上の目標設定が望ましいと思う。	同性を後継者に推薦する傾向があるという指摘は、管理職者研修における視点の一つとして参考にさせていただきます。 目標数値の設定に関しましては第3次計画の中では市の女性職員の管理職比率を「令和8年度末で25パーセント」としてありますが、早期に達成した場合はこのさらに上の数値を目標とします。
3	1ページ	「1 鎌ヶ谷市の女性管理職比率」だと、民間企業を	ご提案のとおり修正しました。

		含めるとも読めないでしょうか。→「1 鎌ヶ谷市職員の女性管理職比率」としてはどうでしょうか。	
4	1ページ	「2」の1行目、「お知らせ」→「周知」では？	ご提案のとおり修正しました。
5	3ページ	「7」のセンター利用者数、センター主催事業の参加者数の減少（利用者数については激減！）について、コロナの影響だとは思いますが、そのことについて言及されていないので、ぜひ理由を書いていただければと思います。	利用者数の表の前に、「令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各種事業が中止となったことと、社会全体で対面での会議や密を避ける動きもあり、利用者数は減っています。」の文章を追記しました。
6	3ページ	「8」の相談件数が減っていることは、一時電話相談にしたことが理由でしょうか（見せる必要はないと思いますが、月別のデータで、電話相談の月と対面相談の月を比較すればわかると思うのですが）。同じ「8」の相談件数について、全国的には、コロナ禍でDVの相談は激増しているなかで（令和3年版『男女共同参画白書』、相談件数が減っているというのは掬い取れていない可能性が高いのではないのでしょうか。メール・チャット・SNSなど、電話・対面に限定されない相談対応も検討していただければと思います。	電話相談に切り替えた際も一定程度の相談予約はあったため、電話相談への切り替えと年間相談数減の因果関係については断定できません。 全国と比較して相談件数が少なく、支援を掬い取れていないのではないかというご指摘につきましては、女性相談窓口カードを公民館の他、商業施設、総合病院のトイレ等に配置し周知を図っています。メールやSNSの相談は今後の検討課題として認識していますが、現在は「DV相談+（プラス）」をあわせて周知し対応しています。

資料8 鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画第2次実施計画進行管理表(一覧)

意見 No	該当 箇所	意見内容	男女室回答
1	目標2 (1) イ	<p>「ほほえみ」の発行が昨年度は1回でしたが、自治会回覧などで広く目に届く刊行物ですので回数を減らさず発行していただきたいです。</p> <p>来年度は2回、目標は増加となっておりますので、期待しています。</p>	<p>令和元年のリニューアルに際し、発行回数は年2回とし、うち1回は班回覧を行うものとして決裁を受けています。現在新型コロナウイルスの関係で、自治会回覧や各事業も中止となり1回のみ発行となりました。このような状況は今も続いています。記事の内容を工夫し2回発行いたします。</p>
2	目標1 (1) ア	<p>「1女性委員比率目標」「2女性委員の登用のための公募枠の拡大」「3女性委員のいない審議会等の数の削減」「8女性教員の管理職への登用の促進」の「平成28年度から令和2年度までの実績内容」については、5年間の数値変化を書いたほうがよいのではないのでしょうか(資料7の再掲にはなるとはいえ)。「1」「2」「3」については「依頼した」ことだけを「実績」とすることが適切とは思えません。(細かいですが「3」については「依頼する」になっています。)</p>	<p>ご指摘のとおり、事業1、2、3につきまして「平成28年度から令和2年度までの実績内容」欄に各項目の5年間の数値変化を記載しました。</p>
3	目標1 (1) ア	<p>「2・・・公募枠の拡大」は女性委員の拡大につながっているのでしょうか。第3次計画にも盛り込まれてはいますが(進</p>	<p>審議会等については、市の関連機関の中から委員を直接委嘱する場合があります。それについては各課へ女性委員の積極的な登用を依頼しているところです。一</p>

		行管理表には盛り込まれていませんが)、女性委員を指名するほうが実質的に女性委員の拡大に結び付くのであれば、公募枠の拡大にこだわるべきではないと思います。	方で審議会は様々な立場からの意見を交わすでもありますので公募枠の拡大が、長期的には多様な視点を取り入れることにつながると考えます。
4	目標3 (1)ア	「24」について、今後に関することですが、千葉県男女共同参画推進事業所表彰事業所について、男女共同参画室のほうで積極的に情報を得て、市内の事業所や市民に周知すべきではないでしょうか。	令和4年1月頃の結果発表を確認し、広報活動に適切な媒体・方法を検討します。
5	目標3 (3)ア	「36」「37」において、令和2年度は、両立支援や両立環境の整備において、リモートワークの導入・活用も関連事項となるかと思うのですが、そのあたりの総括はご検討いただけないでしょうか。 「37」の令和2年度および5年間の実績内容に書かれている「治療と仕事の両立支援について」は、ここでいう「仕事と育児・介護の両立」に係るものと言えるのでしょうか。	リモートワークについては個人情報や機密性の高い資料を扱う業務が多数存在すること、作業のために自宅等から各部署の行政システムにアクセスすることが妥当でないことなどの理由から導入には至らなかったため、令和2年度は4月から5月にかけて、密を避けるため各部署の職員の一部が公共施設で勤務し分散勤務の措置をとりました。 37についてですが、この項で掲げている仕事と育児・介護の両立に沿っているとは言い難い部分がありますが、その上の目標である「男女がともに仕事と生活の両立ができる環境づくり」には資するものと考えます。
6	目標3 (3)イ	「43」の5年間の実績のほうにある、保育ボランティアの利用上限引き	冒頭に「平成28年度から年間一括の保険加入を開始し、」の文章を追記しました。

		上げは、令和2年度の実績内容ではないでしょうか？また、資料7にある、平成28年から始まった、年間一括保険加入の件も、こちらに書くべきではないでしょうか。	
7	目標6 (1)イ	「68」の5年間の実績のほうにある、令和2年度に実施した「理解度テスト」の件は、令和2年度の実績に書くべきではないでしょうか。また、この内容についてお聞きします。	令和2年度実績の欄に転記しました。 理解度テストについては用語等の確認、ジェンダーギャップ指数について日本の順位等を認識してもらうものとして実施しました。
8	目標7 (2)	「73」の「産後ケア事業・産前産後サポート事業」は、間違いでなければ、令和元年度からの事業ではないかと思えます。5年間の実績内容においては、そのことを書く必要があるのではないのでしょうか。	健康増進課に確認したところ平成30年4月から事業を開始したとのことでしたので平成28年度から令和2年度までの実績内容欄に「平成30年度より」の文言を追記しました。

(2) 第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画進行管理表について

各委員からのご意見及び事務局の回答は以下のとおり。

資料9 第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画進行管理表

意見 No	該当 箇所	意見内容	男女室回答
1	事業1 6・4 7など 第3次 計画書 59ペ ージ	もともとの計画に係る部分かとは思いますが(計画策定のときに、提起すべきだったとは思いますが)、目標数値の実現に、担当課が1か所のみ設定されている関係で、例えば、<指標4>の市民意識調査の結果などは、多	「関連する指標について各課でアンケートを取らなければならないのか」という誤解を避けるため、最終的な取りまとめを行う男女共同参画室のみに表記しました。

		<p>くの課の事業の結果として増加することが考えられるにも関わらず（多くの課の事業と関連があるにも関わらず）、男女共同参画室が担当課になっているため、男女共同参画室の事業にのみ関連付けられていることに違和感を感じました。本進行管理表に依らないとしても、意識調査における数値目標を庁内全体で共有することが必要と考えます。</p>	
2	<p>目標Ⅰ -1 (2)事業4 目標Ⅱ -5 (1)事業28</p>	<p>「4男女共同参画に関する啓発事業の実施」「28女性のエンパワーメントに関する講座の実施」ほか、講座・イベントに関連する事業については、令和3年度（来年度も？）はコロナ禍のもとにあるとの認識のもと、オンライン開催ほかコロナ禍における事業形態の検討・工夫に取り組むことを明記すべきではないかと思われます。</p>	<p>会議や講座のオンライン開催のためのインフラ（Zoom有料アカウント等）については整っていないため、今年度は参加者数を絞りながら新型コロナウイルス対策をとり、実施していきたいと思います。また、「新型コロナウイルス対策を講じたうえで」と冒頭に追記しました。</p>
3	<p>目標Ⅰ -1 (3)事業7</p>	<p>「7情報誌の発行」（基本目標Ⅰ）ですが、令和8年度までの目標数値を、計画の「3回」ではなく「増加」としておられるのには何か理由があるのでしょうか。</p>	<p>例年、2回発行としていたため直近の目標としては3回としますが、可能であればさらに発行回数を増やしたいと考えています。</p>
4	<p>目標Ⅱ -6-</p>	<p>「39時間外勤務時間数の削減・休暇（育児・介</p>	<p>担当課に確認を行ったところ、子育て休暇に関する制度周知は</p>

	(1)事業39	護等)の取得促進」(基本目標Ⅱ)の令和3年度の取り組み内容について、「子育て休暇取得率」「男性の育児休業取得率」の目標達成に向けての取り組みがないのは不安です。制度の啓発活動だけでも必要ではないでしょうか。	今後も行っていくとのことだったため、「また、職員に対し子育て休暇等の制度周知を行っていく。」を追記いたしました。
--	---------	---	--

資料10 第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画(R3.4.1~R9.3.31)の
進行管理表について

意見 No	該当 箇所	意見内容	男女室回答
1	資料10【1事業の概要】	「各課へ記入依頼をします」とありますが、各課のどなたが(役職、一般職、担当窓口のどなたが)記入するのでしょうか。 提案なのですが、進行管理表がまさに今後の活動フォロー、評価、そして何よりも、職員の意識向上を図るものなので記入する方を①一般職②管理職の両方にさせていただき、担当窓口の方がおまとめの上、提出するような流れはいかがでしょうか。	進行管理表については、各課へ回答依頼を行います。担当課内で作成した回答案について所属長決裁を行ったうえで男女室へ提出いただく流れとなっていますので、一般職と管理職の間で意見は共有されているものと考えています。ご指摘のとおり、今後の市の男女共同参画社会への姿勢に関わるものであるため、作成にあたっては施策の進捗状況を把握し目標達成に向けて改善につなげてまいります。

進行管理表全般について

意見 No	意見内容
1	良くまとまっていると思います。 一部に、取り組み内容、実績内容が殆ど変わらない様な記述がなされている事業がありますが、全体的に意識、行動改革が進んでいるのではないのでしょうか。

2	全体としてはよくまとめられていると思う。
3	新型コロナウイルスの影響により中止した事業が多いですが、その中でも「男女きらりフェスタ」のオンライン実施やウェルカムベビースクールを予約制で開催するなど、新しい生活様式に対応した事業を今後も期待します。

進行管理表以外の資料について

	該当箇所	意見内容
1	計画書概要版5ページ 目標1	3アンケート調査<男女平等について> 家庭生活、社会生活全体において、男性優位の意識が根付いていると思う。解消に向けた施策の取組が推進されるとよいと思う。

○以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和3年10月26日

氏名 渡辺 善彦

氏名 仲野 美和